

経済倶楽部便り

◆東京◆ 7月は3年ぶりに夏季懇親パーティーを開催。6月に理事長が交代したこともあつてか参加者は61名と大幅増に。パーティーの企画もこれまでと一新され、15時間開宴ということ

で、食事はシャンパンと軽食のみ。企画としては東洋経済出版局の若手エディター2人が手掛けている書籍を熱く語るトークコーナー。それと音楽タイムでは日本フィルの首席ホルン奏者が楽器の歴史などを交えて演奏していただき、盛会のうちに中締めとさせていただきます。

7月入会の新会員をご紹介します。帝人名誉顧問の大八木成男様、古河機械金属副社長の荻

野正浩様です。

9月の講師は神田外国語大学教授の興柁一郎氏、在日オーストラリア大使館首席公使のピーター・ロバーツ氏、朝日新聞社政治部長の松田京平氏、気象研究所台風・災害気象研究部長の加藤輝之氏、東京財団政策研究所主席研究員の早川英男氏を予定しています。

◆中部◆ 7月の講師に(一財)日本総合研究所会長の寺島実郎氏が来名。「製造業の次のけん引役である航空機産業で三菱航空機がとん挫。型式認定に5000億円ほど掛かることが大きな理由だったが、コロナ禍で12兆円もばら撒くことと比較考量すべき」と話されました。

9月の講師は朝日新聞社編集委員の曾我豪氏と双日総研の吉崎達彦氏です。(日暮良一)